第　6　　経　営　分　析

分析計数の意味

総資本利益率……負債を加えた総資本でどの程度の利益をあげたかを示す。比率が高いほどよい。

流動比率……短期の借金と，これを返済するのに必要な財源を比較する比率。高いほど経営の安定性が保たれていることを示し，150%以上確保することが望ましい。

当座比率……流動資産のうち，さらに流動性の強い現金，未収金などと流動負債の割合をみるもの。高いほどよく，100%以上であることが望ましい。

固定比率……固定資産として企業に長く持続すべき資産は自己資本を限度とするという原則で，この比率が100%以内であることが望ましい。

固定資産対長期資本比率……長期資本（自己資本＋固定負債）の固定化の程度を表わす。

自己資本比率……企業が借り入れている資本を自己調達している資本の割合を示す。高いほど望ましい。

総資本回転率……総資本の活動能力を示すもの。高いほど，投下資本に対して営業活動が活発なことを示す。

固定資産回転率……医業収益に対して資本がどの程度固定しているかの割合を示す。回転率の低いことは固定資産への投資の過大なことを示し，固定資産の利用度の少ないことを示す。

未収金回転率……医業未収金等の回収速度を示し，１年間の回転数で表される。高いほど回転が早く医業未収金等の債権が未回収のまま残留する期間が短いことを示す。

1　経営比率調

項目		算式	広島病院 30年度	広島病院 元年度	広島病院 2年度	安芸津病院 30年度	安芸津病院 元年度	安芸津病院 2年度	合計 30年度	合計 元年度	合計 2年度	全国数値 (元年度)
総資本利益率　(%)		当年度経常利益 / 総資本(当期平均)	－	－	－	－	－	－	0.7	△ 1.1	2.7	0.5
資産比率	流動比率　(%)	流動資産 / 流動負債	－	－	－	－	－	－	97.8	81.3	81.1	155.5
	当座比率　(%)	現金預金＋（未収金－貸倒引当金） / 流動負債	－	－	－	－	－	－	92.9	76.3	75.5	149.4
	固定比率　(%)	固定資産 / 資本金+剰余金+繰延収益	－	－	－	－	－	－	△ 3,990.0	△ 4,885.7	1,571.6	279.1
	固定資産対長期資本比率（%）	固定資産 / 資本金+剰余金+繰延収益+固定負債	－	－	－	－	－	－	100.8	107.7	108.2	90.4
	自己資本比率（%）	資本金+剰余金+繰延収益 / 総資本	－	－	－	－	－	－	△ 1.8	△ 1.6	4.8	27.6
回転率	総資本回転率（回）	医業収益 / 総資本(当期平均)	－	－	－	－	－	－	△ 118.18	△ 60.68	65.20	2.02
	固定資産回転率（回）	医業収益 / 固定資産(当期平均)	1.32	1.42	1.41	1.05	1.05	1.02	1.30	1.38	1.37	0.72
	未収金回転率（回）	医業収益 / 未収金(当期平均)	5.32	5.39	4.76	6.61	6.90	6.38	5.39	5.46	4.84	5.68
	減価償却費率（%）	当年度減価償却費 / 有形固定資産+無形固定資産−土地勘定−建設仮勘定−電話加入権−当年度減価償却費	8.5	8.6	9.0	7.5	8.3	8.5	8.4	8.6	8.9	7.5
損益比率	総収益対総費用比率（%）	事業収益 / 事業費用	97.5	99.4	102.8	90.0	93.6	95.2	96.9	98.9	102.2	97.8
	経常収益対経常費用比率（%）	経常収益 / 経常費用	101.3	99.5	102.9	93.3	93.6	95.1	100.6	99.0	102.3	97.7
	医業収益対医業費用比率（%）	医業収益 / 医業費用	97.7	97.8	92.9	79.7	81.1	76.7	96.2	96.4	91.7	88.1
	材料費対医業収益比率（%）	材料費 / 医業収益	29.6	31.3	32.2	18.6	18.4	18.3	28.9	30.5	31.3	24.7
	職員給与費対医業費用比率（%）	職員給与費 / 医業費用	53.2	51.7	52.4	60.9	59.7	60.1	53.8	52.3	53.0	49.1
	職員１人当り医業収益（円）	入院・外来収益 / 年延職員数	16,591	17,314	16,298	11,555	11,786	11,012	16,120	16,794	15,806	15,712
	医師１人１日当り診療収益（円）	入院・外来収益 / 年延医師数	289,288	289,626	271,389	360,863	396,783	373,966	292,985	294,590	276,031	302,984

注１：総資本は，負債資本合計（又は，資産計）である。
　２：医師には，診療援助医師を含む。
　３：全国数値は令和元年度地方公営企業年鑑による。

2　薬品関係比率調

区分			年度	広島病院		安芸津病院		合計	
薬品消費率(%)	投薬薬品	投薬薬品費 投薬薬価収入 (千円)	30	441,413	(79.8)	27,452	(100.6)	468,865	(81.1)
				352,459	125.2	27,622	99.4	380,081	123.4
			元	459,341	(70.0)	25,433	(72.6)	484,774	(70.1)
				321,406	142.9	18,452	137.8	339,858	142.6
			2	412,864	(66.3)	22,794	(60.3)	435,658	(66.0)
				273,604	150.9	13,744	165.8	287,348	151.6
	注射薬品	注射薬品費 注射薬価収入 (千円)	30	2,510,837	(92.0)	110,600	(102.9)	2,621,437	(92.5)
				2,310,626	108.7	113,798	97.2	2,424,424	108.1
			元	3,164,528	(83.6)	113,746	(98.2)	3,278,274	(84.1)
				2,644,825	119.6	111,665	101.9	2,756,490	118.9
			2	3,151,676	(84.7)	123,777	(95.0)	3,275,453	(85.1)
				2,668,694	118.1	117,594	105.3	2,786,288	117.6
	投薬注射薬品	投薬・注射薬品費 薬価収入 (千円)	30	2,952,250	(90.2)	138,052	(102.4)	3,090,302	(90.8)
				2,663,085	110.9	141,420	97.6	2,804,505	110.2
			元	3,623,869	(81.9)	139,179	(93.5)	3,763,048	(82.3)
				2,966,231	122.2	130,117	107.0	3,096,348	121.5
			2	3,564,540	(82.5)	146,571	(89.6)	3,711,110	(82.8)
				2,942,297	121.1	131,338	111.6	3,073,636	120.7
	総薬品	薬品費 薬価収入 (千円)	30	3,638,833	(73.2)	161,123	(87.8)	3,799,956	(73.8)
				2,663,085	136.6	141,420	113.9	2,804,505	135.5
			元	4,016,052	(73.9)	163,657	(79.5)	4,179,709	(74.1)
				2,966,231	135.4	130,117	125.8	3,096,348	135.0
			2	3,896,305	(75.5)	163,827	(80.2)	4,060,133	(75.7)
				2,942,297	132.4	131,338	124.7	3,073,636	132.1
患者一人一日当り薬品損益(円)		薬価収入 年延入院外来患者数 (A)	30	2,663,085		141,420		2,804,505	
				481,928	5,526	93,450	1,513	575,378	4,874
			元	2,966,231		130,117		3,096,348	
				465,374	6,374	92,084	1,413	557,458	5,554
			2	2,942,297		131,338		3,073,636	
				418,447	7,031	79,815	1,646	498,262	6,169
		投薬・注射薬品費 年延入院外来患者数 (B)	30	2,952,250		138,052		3,090,302	
				481,928	6,126	93,450	1,477	575,378	5,371
			元	3,623,869		139,179		3,763,048	
				465,374	7,787	92,084	1,511	557,458	6,750
			2	3,564,540		146,571		3,711,110	
				418,447	8,518	79,815	1,836	498,262	7,448
		損益(A－B)	30		-600		36		-497
			元		-1,413		-98		-1,196
			2		-1,487		-191		-1,279

注：( ) 内は，薬品使用効率

区分		年度	広島病院		安芸津病院		合計	
診療収益に占める薬価収入割合	薬価収入 / 入院外来収益 (%)	30	2,663,085 / 21,326,920	12.49	141,420 / 1,448,864	9.76	2,804,505 / 22,775,784	12.31
		元	2,966,231 / 21,821,300	13.59	130,117 / 1,452,226	8.96	3,096,348 / 23,273,526	13.30
		2	2,942,297 / 20,897,201	14.08	131,338 / 1,364,974	9.62	3,073,636 / 22,262,175	13.81
薬品費対入院外来収益率	薬品費 / 入院外来収益 (%)	30	3,638,833 / 21,326,920	17.06	161,123 / 1,448,864	11.12	3,799,956 / 22,775,784	16.68
		元	4,016,052 / 21,821,300	18.40	163,657 / 1,452,226	11.27	4,179,709 / 23,273,526	17.96
		2	3,896,305 / 20,897,201	18.65	163,827 / 1,364,974	12.00	4,060,133 / 22,262,175	18.24
薬品棚卸資産回転率	薬品費 / 期末在庫高 (回) (C)	30	3,638,833 / 180,074	20.21	161,123 / 12,726	12.66	3,799,956 / 192,800	19.71
		元	4,016,052 / 178,928	22.45	163,657 / 12,659	12.93	4,179,709 / 191,587	21.82
		2	3,896,305 / 220,170	17.70	163,827 / 15,448	10.60	4,060,133 / 235,618	17.23
薬品棚卸資産在庫日数	365日 / (C)	30	365 / 20.2	18.06	365 / 12.7	28.83	365 / 19.7	18.52
		元	365 / 22.5	16.26	365 / 12.9	28.23	365 / 21.8	16.73
		2	365 / 17.7	20.62	365 / 10.6	34.43	365 / 17.2	21.18
薬品棚卸資産在庫率	期末在庫高×12 / 薬品費 (%)	30	180,074×12 / 3,638,833	59.38	12,726×12 / 161,123	94.78	192,800×12 / 3,799,956	60.88
		元	178,928×12 / 4,016,052	53.46	12,659×12 / 163,657	92.82	191,587×12 / 4,179,709	55.00
		2	220,170×12 / 3,896,305	67.81	15,448×12 / 163,827	113.16	235,618×12 / 4,060,133	69.64